

働争議が勃発しはすまつか、機舎鉄工組合や
西部炭坑夫組合の屋中が此の機舎に於いて何
事かを企てて居るのひはあすまつか、其の指
後に、總同盟が報を引いて居るのひはあすま
いか、こゝろ、惣家に驅らつて居るのひはあすま
上で丸日の印刷争議遂に流血の惨を見ること
ゝ大詰字の見出しを見た、戸畑の専務署長と
對する詰す約一時、署長の語る事は一署長の誤
誌中明は紡績株式會の争議に關する部令は
襲日に報告し来たから是ります

機舎鉄工組合の幹部が檢束されて署から
歸る屋中書向に何者かの機舎されたのは事実
ひする機舎は其の報告に接すると直ちに教
の機舎を急行せしめ左所被機舎争は終左後
懸疑者として一人拘留してあるが其の者が国
粹會員であるか安川から依頼を受けた者であ
るか目下の事は全組不明である元來九州の勞
働者は東京や大阪、神戸の勞働者とは異な
つて教育の程度も儼つが無理に權利を主張す
ることと大く資本家と對して強硬であるのを最